

C E F 2025 分科会 I - ②

『ナカボツ・移行支援の伴走型支援でスタートする！～中小企業の雇用事例から～』

■ 日時 令和7年3月8日（土）10:00～11:45

■ プログラムの概要

令和5年4月「障害者雇用促進法」の改正により、新たに雇用する障害者の「能力開発」が企業の責務として加えられ2年が経過しようとしています。障害者雇用を「コスト」として取り組んできた企業においては、業務の組みなおし等様々な課題に直面しているのではないのでしょうか。

一方、早くから障害者雇用に取り組んできた中小企業の中には、既に能力開発を通して、雇用する障害者の「戦力化」に成功している企業がたくさんあります。

昨年好評だったので、今年もやります！障害者が「戦力」として活躍する中小企業と、雇用をサポートする機関のペアで雇用事例を紹介してもらいます。（2組）その後登壇者全員で行う意見交換を通して、これからの「障害者雇用の在り方」「支援機関の雇用支援の在り方」について皆で学びたいと思います。

■ プログラムの目的

- 「戦力」として障害者スタッフが活躍する企業の雇用事例を学ぶ
- 事例を通して障害者雇用における支援機関の役割を学ぶ
 - ・就職準備における取り組み
 - ・職場定着における取り組み

■ 内容と当日のながれ

時間	内 容 (合計 105 分)	担当・発表者
10:00～	<u>分科会の主旨や流れの説明</u> （5分）	全国就業支援ネットワーク 藤尾 健二
10:05～	<u>実践報告①</u> （25分）	五洋電産 株式会社 代表取締役 服部 豪人さん 障害者就業・生活支援センターぼらんち センター長 夏目 芳行さん
10:30～	<u>実践報告②</u> （25分）	調整中
10:55～ 11:45	<u>ディスカッション</u> （50分） 分科会の目的に沿ってディスカッション 質疑応答 まとめ 終了	登壇者全員 （進行：藤尾）